

事業名：学校評議員事業

学校教育課 学校教育係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	01 子どもの可能性を伸ばす教育の充実								
基本事業	02 開かれた学校づくり								
開始年度	平成13年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内小中学校	
手段（事務事業の内容、やり方）	
地域の意見を聞くため、教育委員会が学校評議員を委嘱し、各学校で評議員会を開催し、意見をもらう。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
学校評議員の意見を通して校長が地域の声を把握することにより、子供の健やかな成長を促すため、学校・家庭・地域の連携が図られる。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市内小中学校数	校	27	27	27	0
対象指標2						
活動指標1	学校評議員委嘱数	人	122	118	118	0
活動指標2						
成果指標1	各学校評議員会の開催延回数	回	61	61	61	0
成果指標2						
事業費(A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費(B)		千円	803	802	781	0
総事業費(A+B)		千円	803	802	781	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	評議員会開催	人件費のみ

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
<p>学校が地域住民の信頼に応え、家庭や地域と連携協力して一体となって子どもの健やかな成長を促すため、学校・家庭・地域の連携が図られ、適正な学校運営ができる。</p>	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い	理由 根拠 <p>地域において、小・中学校は中心的役割を持っているため、学校・保護者・地域住民との連携は、公共性が高く妥当である。</p>
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	理由 根拠 <p>今後、長期にわたる学校と地域との一体となった学校づくりが必要であるため、家庭や地域と連携協力して子どもの健やかな成長を促し、適正な学校経営を推進するための貢献度は大きい。</p>
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	理由 根拠 <p>学校・保護者・地域住民との連携の面で、学校に対し様々な意見が出されることにより、適正な学校経営をするうえで、成果はあがっている。</p>
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 <p>学校評価制度と連携し、意見提案を更に幅広く受け入れる。</p>
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由 根拠 <p>平成18年度から報酬を廃止。</p>